



浅井 祥仁 (ASAI Shoji)

東京大学大学院理学系研究科 教授

東京大学理学部物理学科卒業、
同大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了。
理学 (博士)。

1995 年 東京大学 素粒子物理国際研究センター 助手、2003 年 東京大学 素粒子物理国際研究センター 助教授、2007 年 東京大学大学院理学系研究科 准教授を経て 2013 より現職。

専門は素粒子実験。1995 年より欧州 CERN において世界最高エネルギー加速器 LEP,LHC に参加して、ヒッグス、超対称性粒子研究を行っている。現在 LHC・ATLAS に参加している約 100 名の日本の研究者の代表。大型加速器実験と並んで、高輝度光源を用いた新しい素粒子実験の開拓を行っている。

主な著作に『ヒッグス粒子の謎』(祥伝社新書、2012 年)、『LHC の物理—ヒッグス粒子発見とその後の展開—』(共立出版、2016 年) などがある。

日本学術振興会賞 (2012)、読売テクノフォーラム・第 19 回ゴールドメダル賞 (2013)、仁科記念賞 (2013) 受賞。